

メッセージ

Equity & Justiceという言葉、みなさんはこれまで耳にしたことがありましたか。近年欧米では、Diversity & InclusionにEquity & Justiceも含めていくというアプローチが、マイノリティの社会構造的不平等の問題に日々向き合うなかで、雇用、人材育成、就業環境等で活用されています。Diversity Equity and Inclusion (DE&I)やJustice, Equity, Diversity, and Inclusion (JEDI)と使われることも多いようです。国内に目を転じると、Equity & Justiceという概念を使わずとも多くの先駆的实践が見られます。しかし、アート業界では、先生と生徒、演者と観客といった非対称性から生じるひずみ、貧弱な財政支援、ブラックな労働環境などが要因となり、ハラスメントや搾取、疲弊、ジェンダーギャップが多々指摘されてきました。本プログラムの特徴の一つは、アートを媒介とした深刻な社会課題の解決・克服を念頭に置きつつ、ソーシャルワーク的な手法、思考方法についての専門性を高めていくことです。特にAOP(Anti-Oppressive Practice)に関する講座は、現在の日本におけるアートマネジメント教育では先駆的な取り組みと自負するもので、自分たちの働く業界から不正義を一掃するマインドを身につけていきます。※「AOPとは」中面参照

私たちは、Equity & Justice(EJ)、AOPの概念を国内のソーシャルアートの現場の言葉として咀嚼し、社会変革やイノベーションを惹き起していく仲間を募集します。年齢、経験、学生・社会人などを問いません。アートやソーシャルワークに関心のある皆さん、奮ってご参加ください。

2023年6月

応募内容

実施期間

2023年7月～2024年2月

実施場所

大阪公立大学梅田サテライト(大阪駅前第2ビル6階)
大阪府立江之子島文化芸術創造センター
各アートプロジェクトの現場など

受講対象者

アートプロジェクト運営にかかわる実務者、ソーシャルワーカー、地域コーディネーター、行政担当者(文化政策、福祉政策)、美術館・ホール・博物館等の学芸員・職員、研究者(大学院生等)、アーティスト、リカレント希望者。 ※若手(年齢を問わない)あるいはそれぞれの職能の志望者をメインの対象としています。

受講方法・受講料

定員 | 20名 (任意選択制のプログラムを除き、すべての受講を推奨)

前期 「基礎講座(全9回)」(受講料 | 8,000円) *1回限りの受講可。1回ごとの総定員 | 30名 受講料 | 1,000円
「リサーチ」(受講料 | 無料)

原則、前期プログラムに参加された方に限り、後期・通期プログラムを受講することができます。

後期 「実践・場づくり」(受講料 | 4,000円) / 「E&J 芸術祭」

通期 「E&J Café」/ 「ブックレット」/ 「アーカイブ」/ 「評価」

前期プログラム (7月～9月)

基礎講座 全9回/定員20名

リサーチ 全3箇所/定員20名

通期プログラム

E&J Café 定員20名

ブックレット・アーカイブ・評価 定員各5名程度

後期プログラム (10月～2月)

実践・場づくり 全3プログラム/定員12名

E&J 芸術祭

応募方法

オフィシャルサイトの応募フォームよりお申し込みください。

<http://eandjart.jp/>



〆切: 6月30日(金) 23:59 ※「基礎講座」の1回ごとの申込〆切は、オフィシャルサイトをご覧ください。

選考方法: 応募者多数の場合は、応募動機等を参考に選考します。 選考結果: 7月2日(日)に応募者全員に連絡します。

受講希望者向けオンライン説明会

6月19日(月) 19:00 ~ / 22日(木) 19:00 ~ (1時間程度)

参加希望日・氏名・電話番号を明記のうえ、Eメール(info@eandjart.jp)よりお申し込みください。

問い合わせ先

大阪公立大学「EJ ART」事務局(都市経営研究科内)

Eメール: info@eandjart.jp 電話: 06-6605-2496 [平日 9:00~17:00]



大阪公立大学「EJ ART」人材育成プログラム

Equity & Justice | AOPで未来を拓こう!

Equity & Justice
公正正義

Equity(公正)&Justice(正義)を軸にした
ソーシャルアートコーディネーターの人材育成



<http://eandjart.jp/>

主催: 大阪公立大学大学院都市経営研究科

共催: 大阪公立大学大学院文学研究科 / 大阪公立大学都市科学・防災研究センター

NPO法人西淀川子どもセンター / NPO法人こえとことばとこころの部屋(コロールーム) / 一般社団法人こどもまっぷ

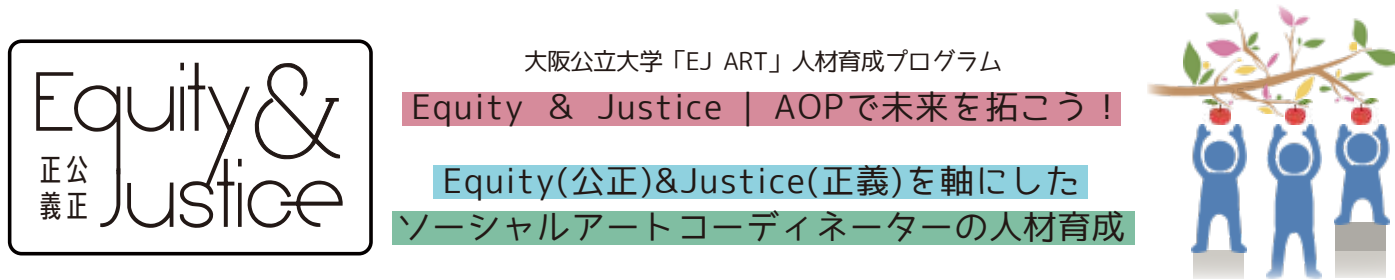
協力: 大阪市経済戦略局文化部文化課 / 大阪アーツカウンシル

助成: 令和5年度 文化庁 大学における文化芸術推進事業



受講生募集中





プログラム

私たちは、ソーシャルワークとアートを架け橋し、アートを媒介に公平・正義に取り組むコーディネーター人材を育成していきます。ソーシャルアートとは、誰もが社会的排除に晒されない環境づくりに向けて、表現行為・活動を通して、公正と正義が保たれる社会の実現をめざす芸術活動です。当プログラムでは、現場の社会課題の克服・解決はもちろん、受講生らの足下のアートやソーシャルワークの抑圧的な実態にも目を向けます。

主に5つのプログラム「基礎講座」「リサーチ」「実践・場づくり」「E&J Café」「E&J 芸術祭」を用意し、対話による学びを重視します。まずは、「基礎講座」で、AOPを始めとしたソーシャルワークの基礎理論や技術、アートマネジメントの各プロセスと社会（環境）の関係を学びます。第一線で活躍する多彩な講師陣、コーディネーターが、少人数の受講生に対して、しっかりとサポートしていきます。つづいて、「リサーチ」、「実践・場づくり」では、コーディネーターの働き方を学び、社会変革の一步を踏み出します。さらに、「E&J Café」を通して、受講生と講師によるコミュニティ、ネットワークを形成していきます。受講生のみなさんは、「E&J 芸術祭」で市民と繋がり、プレゼンを行うことでその成果を実感することでしょう。

レガシーとして、「E&J Café」を発展継承させ、それぞれが対等な立場でネットワークに参加する実務と相談窓口のプラットフォームを残したいと考えています。

AOPとは？

Anti-Oppressive Practiceの略で、日本語では反抑圧的实践と訳され、ソーシャルワークの文脈で発展してきました。誰もが当事者であることを前提として社会の抑圧構造に目を向け、様々な立場の人とともに、社会資源を活用し、互いの豊かさや課題を共有しあいながらJustice(正義)の実現を目指します。こうした実践を、本事業での現場の課題解決に適用していくのはもちろん、足元のアート業界における構造的な抑圧や搾取に目を向けることから出発します。

2023年度活動予定

前期プログラム（7月～9月）

1. 「基礎講座」 講座系

会場：大阪公立大学梅田サテライト（大阪駅前第2ビル6階）

ソーシャルワーク

ソーシャルワークとアートの現場ではハラスメントや搾取、疲弊が多々指摘されています。その改善なくして、ソーシャルアートは前進できないと考えます。講座を通して、業務に出現する抑圧的な実態や構造に目を向け、その改革について話し合っていきます。

① 「反抑圧的ソーシャルワーク実践(AOP)の基礎を学ぶ」

開催日：7月6日(木) 18:30～21:00 講師：児島 亜紀子(大阪公立大学現代システム科学研究科教授)

② 「ソーシャルワークから学ぶこれからの芸術実践」

開催日：7月13日(木) 19:00～21:00 講師：奥山 理子(みずのき美術館キュレーター、Social Work/Art Conferenceディレクター)

③ 「アートマネージャー 伴奏者のための『脱いい子』ワークショップ ～『ケアする/される』を演じて考える～」

開催日：7月20日(木) 19:00～21:00 講師：「アート/ケア/文化政策」研究会
風間 勇助(奈良県立大学地域創造学部講師) / 南田 明美(静岡文化芸術大学文化政策学部講師)
齋藤 梨津子(早稲田大学大学院博士課程)

アートマネジメント

ソーシャルアートのマネジメントのプロセスに関する理論的な学習です。6つの段階(①社会課題の発見/②調査・分析/③企画・準備/④実施/⑤評価/⑥記録・アーカイブ)に分け、それぞれのプロセスについて理解を深めます。

④ 「社会的課題の発見 - スタートが分れ道」

開催日：7月25日(火) 19:00～21:00 講師：中川 真(大阪公立大学都市科学・防災研究センター特任教授)

⑤ 「具体的課題の調査と分析 - “同じ地平”とは？～障害のある人を含む音楽実践から～」

開催日：7月27日(木) 19:00～21:00 講師：沼田 里衣(大阪公立大学大学院文学研究科准教授)

⑥ 「企画と準備 - 地域に根ざした美術館をつくること」

開催日：8月3日(木) 19:00～21:00 講師：菅原 真弓(大阪公立大学大学院文学研究科教授)

⑦ 「現場における実践 - “記憶の地図”を巡るアートプロジェクト」

開催日：8月17日(木) 19:00～21:00 講師：吉田 隆之(大阪公立大学大学院都市経営研究科准教授)
榎原 節子(榎原節子建築研究所代表、大阪公立大学大学院都市経営研究科修士2年)

⑧ 「ソーシャルアートの評価 - アーツカウンシルの視点」

開催日：8月24日(木) 19:00～21:00 講師：宮崎 優也(大阪アーツカウンシル統括責任者)

⑨ 「記録とアーカイピング - NAMURA ART MEETING '04-'34を契機として」

開催日：8月31日(木) 19:00～21:00 講師：櫻田 和也(NPO法人記録と表現とメディアのための組織、大阪公立大学都市科学・防災研究センター特任講師)



「同じ地平”とは？～障害のある人を含む音楽実践から～」

地域に根ざした美術館をつくること

”記憶の地図”を巡るアートプロジェクト

アーツカウンシルの視点

2. 「リサーチ（先進地視察）」 実践系

ソーシャルアートの実務にはリサーチが欠かせません。3つの先進地事例を用意しました。受講生は、そのうちの一つを選択します。この活動を通して、現場のコーディネーターの働き方を学び、必要なスキルとスタンスを身につけていきます。

「高齢化と多様性と孤立の社会で」 NPO法人ココルーム・釜ヶ崎芸術大学（大阪市西成区）

開催日：8月～9月 コーディネーター：上田 假奈代(詩人、NPO法人ココルーム代表理事)

「『表現未満、』の取り組み～“障害”と“表現”とまちづくり～」

認定NPO法人クリエイティブサポートレッツ（静岡県浜松市）

開催日：10月13日(金)～15日(日) コーディネーター：久保田 翠(認定NPO法人クリエイティブサポートレッツ理事長) / 南田 明美(静岡文化芸術大学文化政策学部講師)
※会場までの交通費および宿泊費は自己負担となることご了承ください。

「多様な共生のありかた」 一般社団法人HAPS（京都府京都市）

開催日：9月～10月(予定) コーディネーター：石井 絢子(HAPS、アートコーディネーター)



NPO法人ココルーム・釜ヶ崎芸術大学

認定NPO法人クリエイティブサポートレッツ

一般社団法人HAPS

後期プログラム（10月～2月）

3. 「実践・場づくり」（任意選択） 実践系

3つのテーマと現場を用意しました。受講生は、そのうちの一つを選択します。地域課題に根差しながらプログラムが企画される場を体験することで、アートコーディネーターの勘所を、プロのコーディネーターから直接学び、現場実践のスキルをリアル体験で学んでいきます。

「そこにある声を聞きなおす～公害から環境共生へ～」

NPO法人西淀川子どもセンター / 公益財団法人公害地域再生センター・あおぞら財団 ほか

開催日：10月～12月(予定) 会場：大阪市西淀川区
コーディネーター：松岡 咲子(アートコーディネーター) / 村田 のぞみ(アーティスト)

「貧困と孤独と表現～釜ヶ崎における協働の自立支援・就労準備支援表現プログラム～」

NPO法人ココルーム・釜ヶ崎芸術大学

開催日：10月～12月(予定) 会場：釜ヶ崎芸術大学 ほか
コーディネーター：上田 假奈代(詩人、NPO法人ココルーム代表理事) ほか

「ジェンダー：Silhouette Family（『性的マイノリティの家族のカタチ』の写真展）」

一般社団法人こどもまっふ

開催日：7月～12月(予定) 会場：大阪市内各所（調整中）

コーディネーター：新ヶ江 章友(大阪公立大学大学院都市経営研究科、人権問題研究センター教授) / 長村 さと子(一般社団法人こどもまっふ代表理事) / 澄 毅(アーティスト)



NPO法人西淀川子どもセンター 撮影：永田和幸



NPO法人ココルーム・釜ヶ崎芸術大学



一般社団法人こどもまっふ

4. 「E&J 芸術祭」 成果報告系

成果を一般の来場者（市民）と共有するため、2023年度の事業を総括し、展示やフォーラムなどを行う予定です。成果を社会と共有するというプロセスと手応えを感じる事が、次年度への活動の燃料となるでしょう。

開催日：2024年1月～2月(予定) 会場：大阪府立江之子島文化芸術創造センター（調整中）

通期プログラム

5. 「E&J Café」 実践系

受講生同士のコミュニケーションや意見・情報交換を目的としたカフェ。活動の中で悩みや疑問など、もやもやしたものが積み重なっていくかもしれません。「E&J Café」は、互いに語り合うことによって悩みを解消したり、活動の公平(平等)や正義を再確認する場としていきます。

開催日：2023年7月30日(日)、11月2日(木)、2024年1月11日(木) 会場：大阪府立江之子島文化芸術創造センターほか（調整中）

ファシリテーター：久保田 テツ(大阪音楽大学ミュージックコミュニケーション専攻准教授、NPO法人記録と表現とメディアのための組織代表理事)

6. 「ブックレット」「アーカイブ」「評価」（任意選択） 成果報告系

「ブックレット」では、編集の方法、メッセージの伝え方を学びます。「アーカイブ」では、活動の意義を振り返り、「評価」では、文化事業の新たな評価モデルを構築し、当該プログラムのバージョンアップはもちろん、受講生の未来につなげます。

開催日：随時

アーカイブ講師：櫻田 和也(NPO法人記録と表現とメディアのための組織、大阪公立大学都市科学・防災研究センター特任講師)
評価コーディネーター：熊谷 薫(合同会社ARTLOGY代表、東海大学広報メディア学科講師) / 石幡 愛(アートマネージャー、リサーチャー)